

麗しの杜で樹名板取り付け！

●寒風の中、16人で！

昨1日午後2時から、春日部地区浦高会で植樹を行ってきた「麗しの杜」(市営・川久保公園)にて樹名板取付作業を行いました。参加者は、三輪昭彦会長以下16名+子ども1名、市からは榊原則之・公園緑地課長、埼玉県生態系保護協会春日部支部からは三好あき子・支部長以下3名が参加してくれ、強い北風の中で約60枚の樹名板を取り付けました。

作業は、7つのグループに分かれてもらい、各グループ8~10枚の樹名板に棕櫚縄を通して、木と添え木の辺りに縛り付けてもらいます。木々の名前については、植栽計画書に示しています。

2010年10月の植栽開始以来、コナラ、エノキ、カツラ、ヤマザクラ、イロハモミジなど川辺の植生に合わせた樹木を4年間で75本(約100万円相当)を植えてきたのですが、枯れたもののあり、この日の作業予定は64本でした。

前回は2011年7月で、前回の樹名板も数枚残っていました。

この日は、地元紙“**かすかべファミリー新聞**”の正能記者



〔⑤2011年7月の作業風景〕

が取材に訪れており、三輪会長からは「県立浦和高等学校同窓会では、2007年10月から寄居町風布地区に5haの山林を借りて『浦高百年の森』づくりを行い、荒川の源流で環境づくりを進めています。こうした状況を踏まえて、私達の地域同窓会でも地域に貢献できる『環境づくり』が出来ないかと考えていたところ、春日部市のご協力をいただき、市営・川久保公園の一部に植栽をさせていただくことができました。4年間で75本の2m~5mの木々を植栽(市へ寄付)させていただき、現在は草刈などの維持活動を行っています。この公園は散歩などで訪れる方々や子ども達の昆虫採集などが頻繁に行われており、そうした方々に川辺に育つ木々の名前を知ってもらいたいと思い、今回は樹名板の取り付けを行うものです。私たちの春日部地区浦高会では、仲間の親睦だけでなく、私たちを育ててくれた地域に少しでも恩返しを兼ねた貢献ができればと考えており、これから創立15周年に向けては青少年を対象とした『人づくり』活動を検討しています。」とのコメントがありました。

川面を揺らした冷たい北風の中でしたが、皆さんの手際も良く、約30分で樹名板取り付け作業は終わりました。全員で記念撮影を行い〔写真下⑥〕、引き続き、三好さんたちのご案内での野鳥観察会に移りました。皆様、お疲れさまでした。m(_)_m



〔①挨拶する榊原公園緑地課長(左)〕



〔②作業する鳥井副会長〕



〔③斜面での作業・牛久保事務局長〕



〔④築山での作業風景、三村さん〕



〔以下の写真は、参加者された皆さんの作業風景です〕



〔⑦岩本さん〕



〔⑧岡野さん〕



〔⑨三輪会長〕



〔⑩石田さん〕



〔⑪鈴木さん〕



〔⑫築山風景〕



〔⑬石塚勝巳さん〕



〔⑭縄取り付け作業風景〕



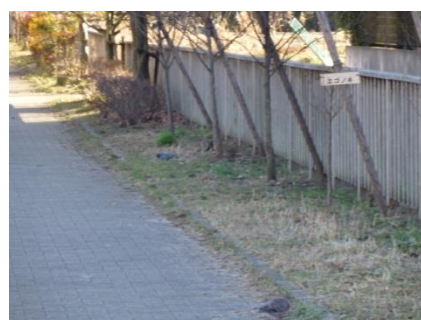
〔⑮今成さん〕



〔⑯森さん〕



〔⑰石塚善幸さん〕



〔⑱エゴノキの樹名板〕



〔⑲築山の様子〕



〔⑳コナラの樹名板〕

北風の中での作業は少々厳しいものがありましたが、無事に取り付けることができました。